連絡先:自動車交通局技術安全部審査課
 リコール対策室
 TEL:03-5253-8111 内線 42-353
 URL:http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成 18年 6月 23日

リコール届出番号	1685	リコール開始日	平成 18年 6月 23日
届出者の氏名又は名称	株式会社 小松製作所 代表取締役社長 坂根 正弘		製作者名: 株式会社 小松製作所 問い合わせ先: 品質保証部 03-5561-2686
不適合の部位(部品名)	① 動力伝達装置(油圧ホース) ② 原動機(ファンプーリ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	① 静油圧変速機の油圧ホースにおいて、その耐圧強度及び取付け角度が不適切なため、冬季使用時等の低温時に作動油の粘度が上がり高圧となった場合に、油圧ホースに亀裂が発生することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ホースが破損して作動油が流出し、最悪の場合、走行できなくなるおそれがある。 ② 原動機の冷却ファンプーリにおいて、防錆処理が不適切なため、原動機室内に雨水等が浸入した場合に、当該プーリが早期に錆びることがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ファンベルトが摩耗して緩み、補機類が駆動されず充電不良となり、最悪の場合、原動機が停止し、再始動できなくなるおそれがある。		
改善措置の内容	① 全車両、油圧ホースを対策品と交換し、取付け角度を変更する。 ② 全車両、原動機室のフードドアに防水用トリムシールを追加し、ファンプーリを対策品と交換し、ファンベルトを新品に交換する。		
不具合件数	① 5件 ② 9件	事故の有無	①及び②とも無し
発見の動機	①及び②とも市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	<ul style="list-style-type: none"> ・使用者には、直接電話またはダイレクトメール等により連絡する。 ・自動車分解整備事業者には、使用者を把握しているので周知のための措置は特にとらない。 ・対策完了車には、ステッカ(No.1685)をキャブ内側の後部窓左下に貼り付ける。 		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
コマツ	SB-WA053	WA80-3	WA053-12001~WA053-13035 平成 16年 3月 17日~平成 18年 3月 9日	169台	①及び②
			WA053-13036~WA053-13046 平成 18年 3月 9日~平成 18年 4月 11日	3台	①
	SB-WA054	WA100M-3	WA054-11501~WA054-12012 平成 16年 3月 23日~平成 18年 2月 13日	32台	①
	(計2型式)	(計2車種)	(製作期間の全体の範囲) 平成 16年 3月 17日~平成 18年 4月 11日	(計204台)	

[注意事項] リコール対象車の車台番号の範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。